

とらのだしまき

霊夢ちゃんとお外で遊ぼう!!





おい霊夢〜

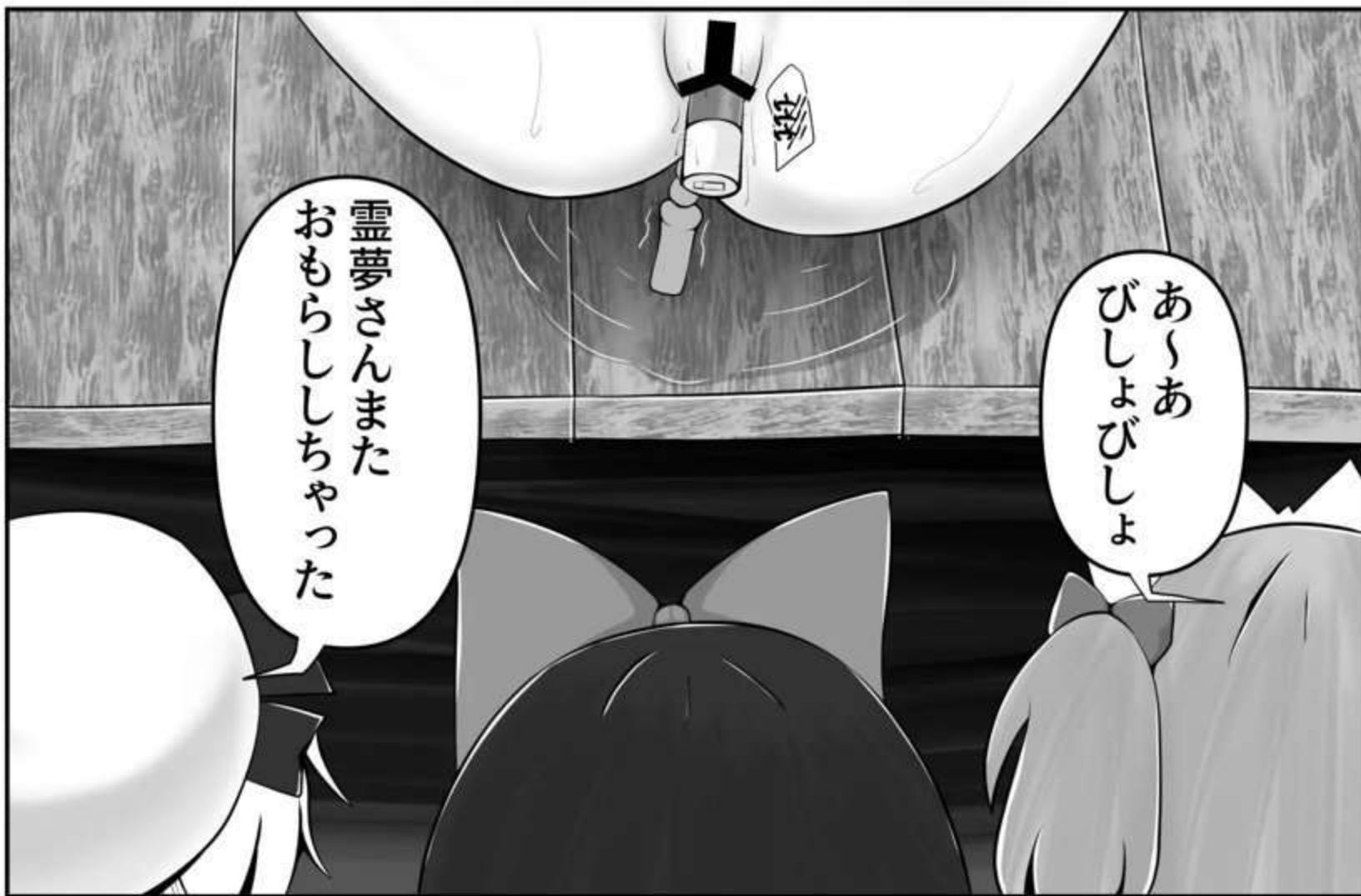
遊びに来たぞ〜

いないのか〜？

ここにもいない……



なんだ留守か
どこに行っただ
あいつ……



霊夢さんまた
おもらししちゃった

あゝあ
びしょびしょ

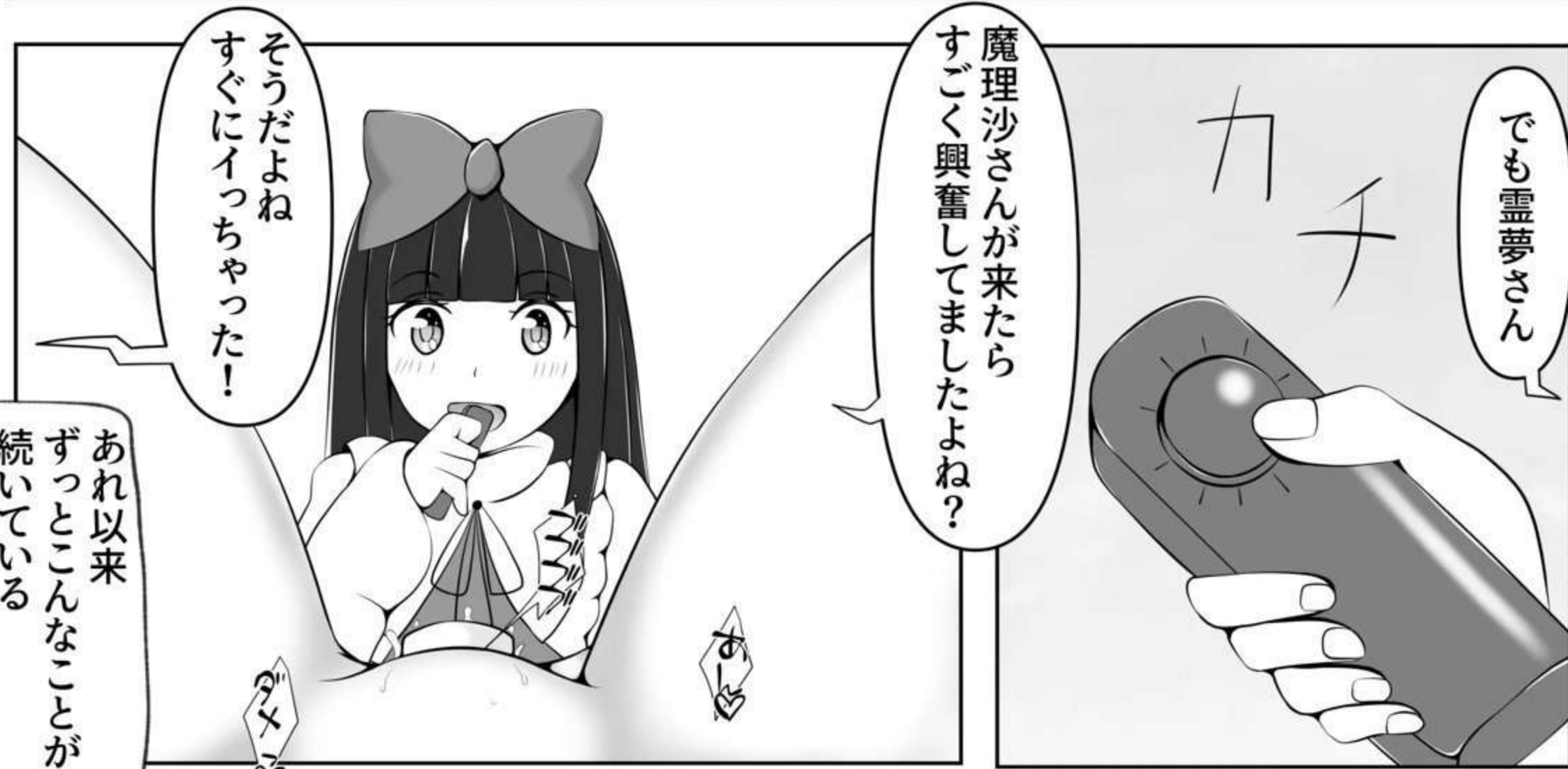


魔理沙さん
いっちゃったね



も…もうだめよ
こんなこと……

魔理沙に気づかれたら
どうするのよ……



でも霊夢さん

魔理沙さんが来たら
すごく興奮してましたよね？

そうだよね
すぐにいっちゃった！

あれ以来
ずっとこんなことが
続いている

マ
X
心



はいはいはーい
いいこと思いついたよ！

う…嫌な予感…

霊夢さんってさ
恥ずかしければ恥ずかしいほど
興奮しますよね？

そっそんなこと
あるわけっ
ないでしょっ！

だったら試して
みましようよ

ちゅっ…

これから人里にいきまゝす

キユ…

そこで霊夢さんがどれだけ
我慢できるか試してみまゝす

ちゃんと姿と音は
消してあげますよ

だけどイっちゃったら
能力解除しちゃいますよ

わあっ
おもしろそう！

恥ずかしいのが
好きじゃないなら
我慢できますよね

ちよちよっと待って…

それじゃあしゅっぱっ！

あああっ
ダメっ！



ザワ...

ああ...いや...
またこんな...人がいる所で...

ズキ
ズキ
ズキ



大丈夫よね
気づかれてないわよね...?

私...どんなことを
されちゃうんだらう...

ハア
ハア





あの二人
ちようどいい感じね

霊夢さん
あの二人のそばに行つて
見せつけるように
お尻を振ってください

はあ

お尻



あああ……
そんな恥ずかしいこと
しなきゃいけないの……?



大丈夫ですよ
姿はちゃんと
隠してあげますから

あー

あー



うう……
気づかれないよね……



ほら早く！



あうう…
見えてないってわかってるけど
すごく恥ずかしい……!!



こんなのまるで
変態みたいじゃない!

こんな…
見せつけるみたい…



ははははははっ
犬にでも
かけられたんじゃねーか



うわっ!
なんだこりゃ!?

ズしょ



ん?



ざわ...



霊夢さん
もうイっちゃった

早すぎですよ

それじゃあまず
音を聞こえるように
しちやいますね

ま...待ってお願い!

霊夢さん次イっちゃったら
姿が見えるようにしちやいますよ?



霊夢さん
いきそうになったら
大きな声でイクって
言ってくださいね

そうしてくれたらおもちゃを
止めて上げます



霊夢さん次イっちゃったら
姿が見えるようにしちやいますよ?



ちゃんと聞こえるように
言ってくださいね

聞こえなかったら
止めませんからね

それじゃあ次はあの人の前で
大きく足を開いて座ってください



ああ...いやあ...

いいですよ霊夢さん
見せつけるように
足を開いてください

大丈夫ですよ
姿は見えないように
してあげますから



じゃあ次は
こうしよう！

縄で……
こうやって……

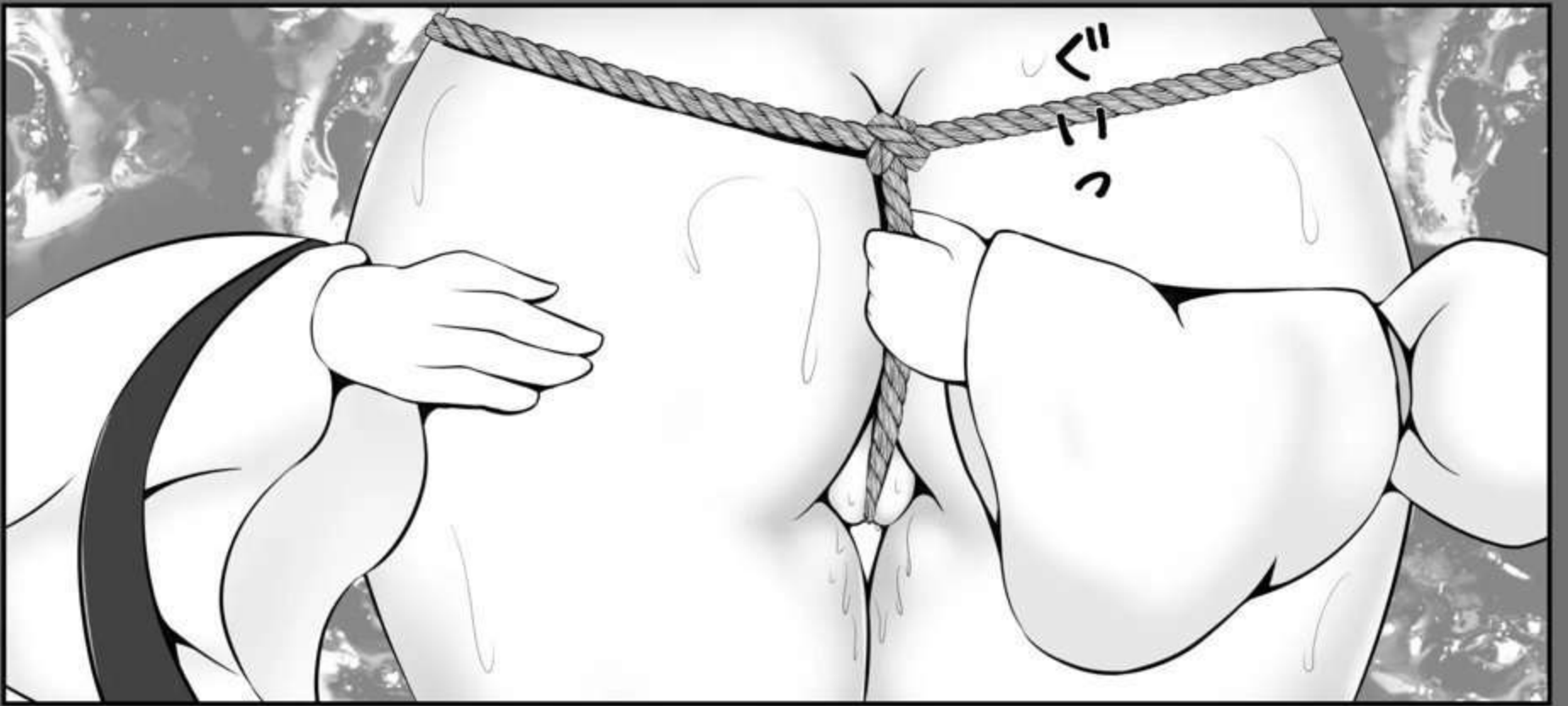


霊夢さんが気持ちよくならないように
おもちゃは抜いて上げますね

代わりに縄で
縛ってあげます

これなら
気持ちよくなったり
しませんよね？

その後も私は恥ずかしい姿のまま
人里を引き回された
歩きながらも縄や卑猥な器具で
責め立てられる



こんなに恥ずかしいのに
こんなに惨めなのに
なのにどうして
私の身体は淫らに反応してしまおうの？

食い込む縄にさえ浅ましく反応してしまい
身体が昇り詰めそうになる
だけどそのたびに縄が緩められ
身体への刺激が止まり
私は宙に放り出されたまま
昇ることも降りることもできなくなる



終わらない
寸止め地獄に
私の心と身体は
もう限界だった



どうしてほしいのか
ちゃんと聞こえるように
大きな声で言ってくださいよ

どうしました
何がお願いなんですか？



も...もうダメ...
お願いよ.....

あお♡

あお♡



やだ霊夢さんったら〜

シユル

恥ずかしい声
みんなに聞かれ
ちゃいましたよ〜



も...もう我慢できないの!!

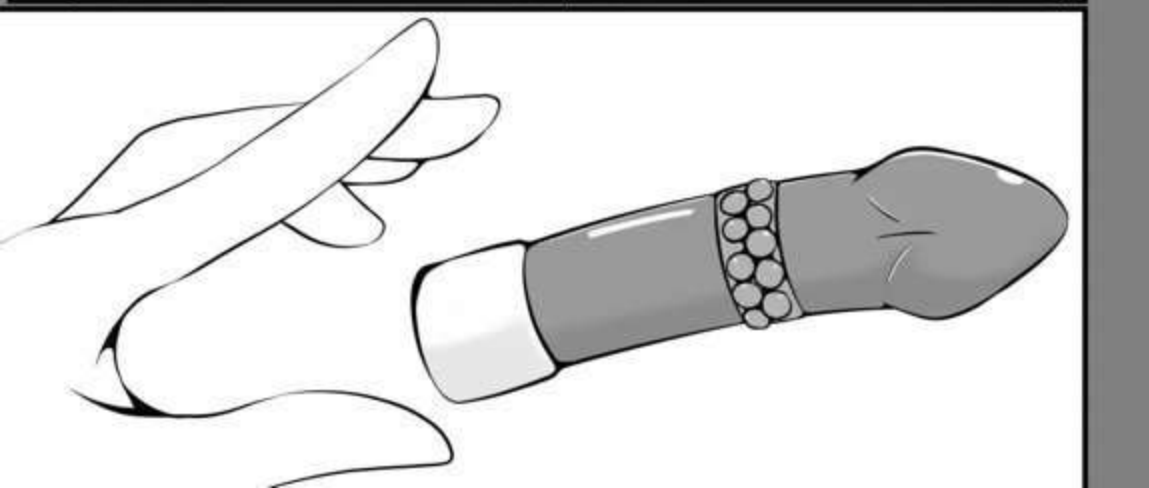
お願い
イカせてよお.....!!



んがぁ...



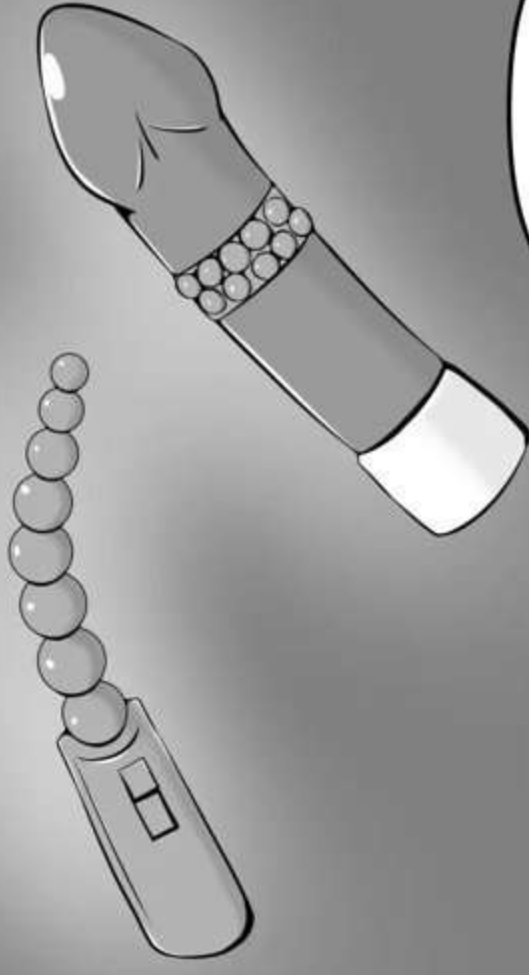
んがぁ...



はいどうぞ
霊夢さん

私たちは
何もしませんから

霊夢さんが自分の
好きにするんですよ





簡単に飲み込んだじゃった!

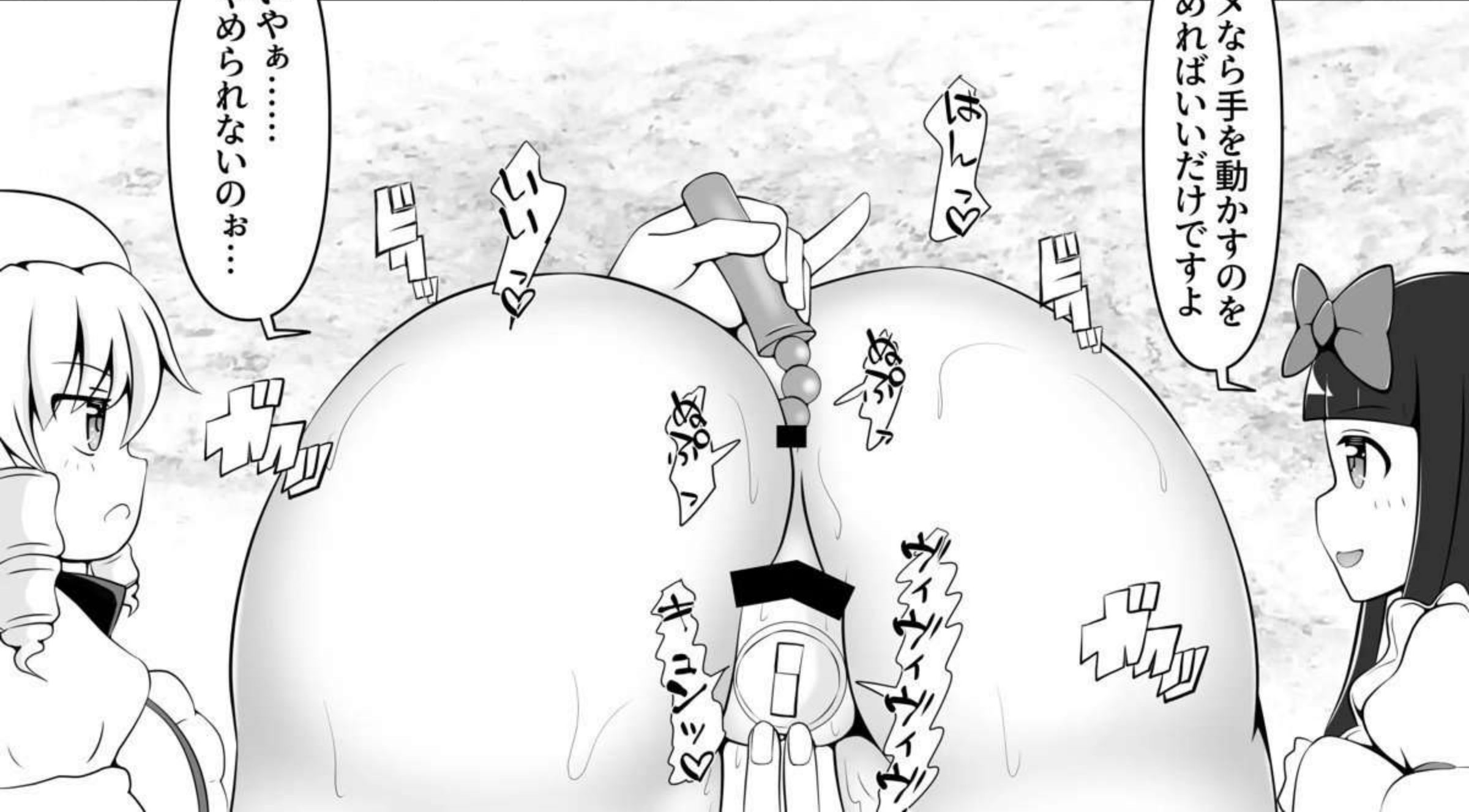
わあすー

いいんですか霊夢さん?
イッたら見られるように
しちゃいますよ



ダメえ…
見られちゃダメなのお

ダメなら手を動かすのを
やめればいだけですよ



いやあ……
やめられないのお……

ダメなら手を動かすのを
やめればいだけですよ



みんな霊夢さんのイヤらしい声を聞いて不思議がってますよ

いやあ……
えっちな声聞かないでえ……

ああ……
もう……ダメ……



イッチャいますか？
イッチャいますね！

ああ……
見られちゃう……

それじゃあみんなから
見られるようにしちゃいます

こんな……恥ずかしい姿を
みんなに……見られたらわたし……



くっ……

イッチャう……！

ボクッ

ボクッ



霊夢さん
起きてくださいよう

いいんですか
こんな所で
寝ちゃって？

見つかったちゃいますよ

ん〜でも……

誰もいなくなっちゃったね

そりやまあ
声だけ聞こえて
誰もいないのって
不気味だしね

妖怪の仕業って
思われちゃったかな

ひゅ〜…



■初めまして、またはこんにちわ。『とら』です。

本作品を手にとってくれてありがとうございます。

本作は2022年の秋季例大祭で出した
「霊夢さんと遊ぼう」の続編になってますが、
なにか物語的な続きがあるわけでもありません。

今作を読むのに前作を読まなくても
大丈夫なようにしています。

三妖精の能力で露出プレイさせられる霊夢さん、
ただそれだけが描きたくて始めました。
2冊目も出せて感無量です。

次のイベントをどうしようかまだ決めてないのですが
また拙作を手にとっていただけたら幸いです。

霊夢さんとお外で遊ぼう

2023/11/12 初版

発行：とらのだしまき

発行者：とら

TWITTER(X)：mokotiger

PIXIV：5496791

Fanbox：https://mokotiger.fanbox.cc/

Ci-en：https://ci-en.dlsite.com/creator/6295

本誌の無断転載ならびにネットへのアップロード・共有などの行為を禁止します



とらのだしまき